

2013年外来入院患者統計（2013年1月～12月）

■ 外 来 ■

月	初 診					再 診					合 計				
	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター
1月	40	27	111	236	23	1,068	808	1,216	4,079	833	1,108	835	1,327	4,315	856
2月	38	26	96	228	24	1,104	743	1,184	3,796	769	1,142	769	1,280	4,024	793
3月	49	28	76	251	25	1,123	736	1,382	4,056	913	1,172	764	1,458	4,307	938
4月	44	27	77	248	29	1,169	773	1,216	4,109	865	1,213	800	1,293	4,357	894
5月	65	26	85	268	27	1,218	763	1,191	4,165	938	1,283	789	1,276	4,433	965
6月	50	23	81	248	21	1,013	719	1,134	3,950	868	1,063	742	1,215	4,198	889
7月	53	27	82	268	13	1,172	806	1,264	4,161	972	1,225	833	1,346	4,429	985
8月	52	50	89	241	21	1,090	804	1,201	3,966	925	1,142	854	1,290	4,207	946
9月	51	34	53	219	15	1,089	759	1,121	3,846	845	1,140	793	1,174	4,065	860
10月	46	27	101	276	17	1,174	824	1,207	4,491	937	1,220	851	1,308	4,767	954
11月	48	31	84	243	18	1,084	767	1,059	4,130	927	1,132	798	1,143	4,373	945
12月	36	21	106	254	16	1,090	759	1,097	4,082	962	1,126	780	1,203	4,336	978
計	572	347	1,041	2,980	249	13,394	9,261	14,272	48,831	10,754	13,966	9,608	15,313	51,811	11,003

■ 入 院 ■

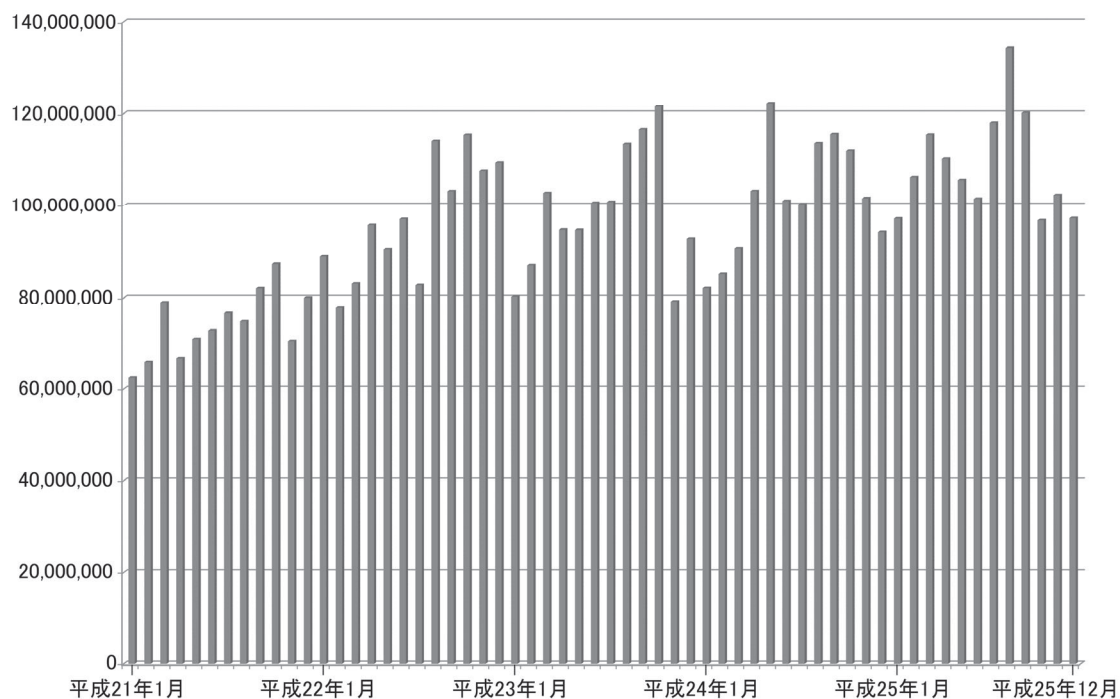
月	新 入 院					退 院					延 入 院 数				
	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター	消化器・ 肝移植 外科	臨床腫瘍 科・乳腺 外科	乳腺・ 甲状腺 外科	消化器病 センター	I B D センター
1月	89	54	36	212	23	81	55	29	183	20	1,196	628	355	2,432	359
2月	80	53	32	198	25	82	54	34	202	20	1,172	545	342	2,417	398
3月	100	55	39	216	20	94	55	36	221	32	1,226	625	400	2,733	390
4月	98	43	42	219	28	101	51	47	213	18	1,298	560	396	2,764	388
5月	99	40	36	215	33	97	38	31	221	35	1,259	464	399	2,869	478
6月	105	39	36	219	26	97	47	40	216	27	1,220	499	419	2,497	489
7月	90	66	39	223	26	98	60	35	210	24	1,409	691	395	2,769	403
8月	89	55	39	233	21	85	57	43	230	28	1,341	713	441	2,932	374
9月	91	44	37	192	27	104	49	33	197	21	1,306	604	380	2,745	457
10月	83	57	39	218	27	80	57	43	234	26	1,129	699	450	2,777	529
11月	85	45	36	197	31	76	45	36	199	24	1,248	614	298	2,590	545
12月	75	41	32	206	20	90	56	37	239	33	1,125	517	326	2,842	543
計	1,084	592	443	2,548	307	1,085	624	444	2,565	308	14,929	7,159	4,601	32,367	5,353

※ 数値は速報値です。

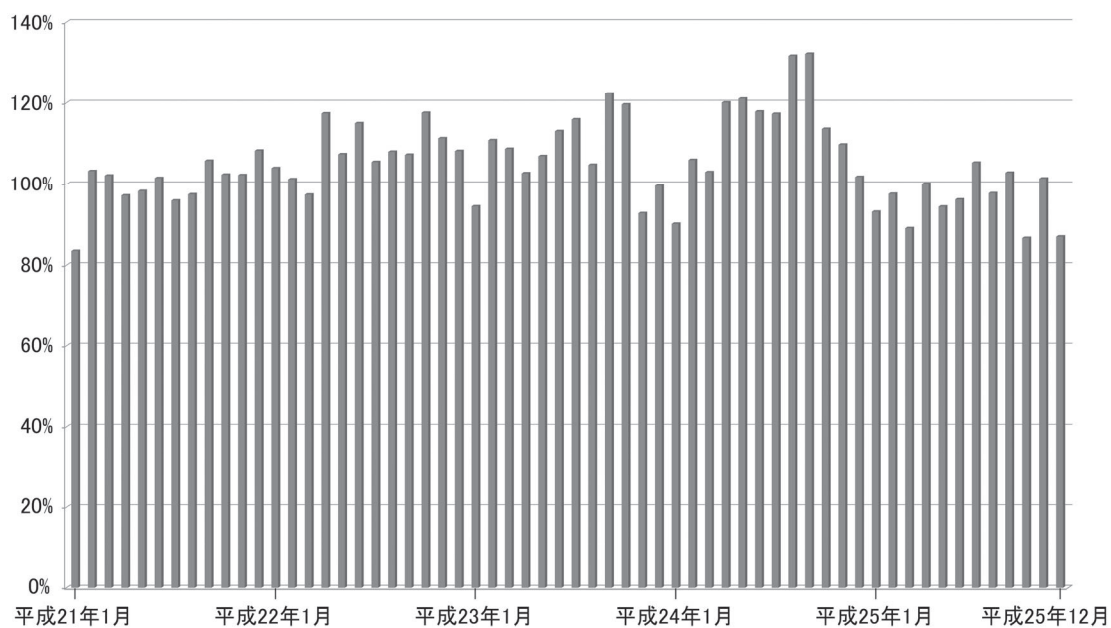
※ 延入院数は24時現在の在院患者数ではありません。退院患者も含まれています。

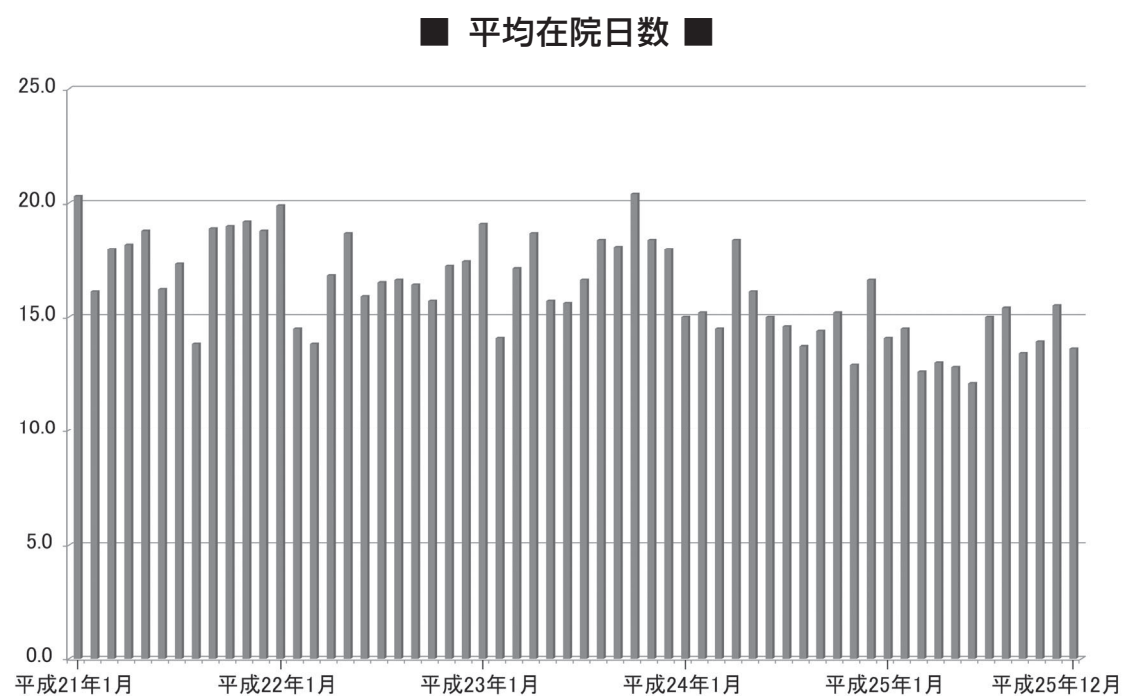
消化器・肝移植外科の最近5年間の診療指数の推移

■ 稼働額（室料除く） ■



■ 病床利用率 ■





外 来 日 程 表

横浜市立大学附属病院

消化器・肝移植外科	初診担当医	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜
	再診担当医	遠藤 格 佐藤 圭		遠藤 格 佐藤 渉		遠藤 格 藪下 泰宏
	専門外来 担当 医	田中 優作	諏訪 雄亮	平谷 清吾 門倉 俊明	村上 崇	大山 倫男
		肝・胆・脾 遠藤 格 森 隆太郎 野尻 和典 胃 秋山 浩利 松山 隆生 小坂 隆司		肝・胆・脾 遠藤 格 武田 和永 松山 隆生 谷口 浩一 野尻 和典 森 隆太郎		肝・胆・脾 遠藤 格 武田 和永 熊本 宜文 胃化療 秋山 浩利 小坂 隆司 大 腸 渡部 顕
臨床腫瘍科・乳腺外科	初診担当医	市川 靖史	徳久 元彦	市川 靖史	後藤 歩	
	再診担当医	市川 靖史	徳久 元彦	市川 靖史 後藤 歩	後藤 歩 市川 靖史	市川 靖史 小林 規俊
	専門外来 担 当 医	化学療法外来 貴島 深雪 大腸化療 市川 靖史 乳 腺 菅江 貞亨 佐藤 真理	化学療法外来 後藤 歩 小林 規俊	化学療法外来 市川 靖史 小林 規俊	外来化学療法室 市川 靖史 化学療法外来 後藤 歩 寫村 健 小林 規俊	大 腸 市川 靖史 乳腺化療 菅江 貞亨 喜多久美子 外来化学療法室 後藤 歩

横浜市立大学附属市民総合医療センター

		月 曜		火 曜		水 曜		木 曜		金 曜	
				乳腺外来 石川 孝(乳腺) 成井 一隆 嶋田 和博				甲状腺外来 益戸功彦(甲状腺) 福田 未緒 松津賢一(非常勤)		乳腺外来 石川 孝(乳腺) 成井 一隆 嶋田 和博 木内幸之助(非常勤) 太田郁子(非常勤)	
乳腺 甲状腺外科	初診担当医 再来担当医										
(IBD)センター 炎症性腸疾患	初診担当医			木村 英明						木村 英明	
	再来担当医			木村 英明 小笠原康夫						木村 英明 小笠原康夫	
消化器病センター	初診担当医		大田 貢由	國崎 主税		大田 貢由 菅野 伸洋 木村 準		大島 貴		上田 倫夫	
	午前	専門外来 担当医	下部消化管(大腸・ 直腸・大腸化学療法) 大田 貢由 石部 敦士 金沢 周 土屋 伸広 清水 康博	上部消化管 (食道・胃) 國崎 主税 大島 貴 牧野 洋知 菅野 伸洋 木村 準 林 茂也		下部消化管(大腸・ 直腸・大腸化学療法) 大田 貢由 大木 繁男 石部 敦士 金沢 周 土屋 伸広		上部消化管 (食道・胃) 國崎 主税 大島 貴 菅野 伸洋 肝・胆・膵 上田 倫夫 山口 和哉		肝・胆・膵 上田 倫夫 小笠原康夫 山口 和哉	
	午後	専門外来 担当医	下部消化管(大腸・ 直腸・大腸化学療法) 大田 貢由 石部 敦士 金沢 周 土屋 伸広 清水 康博	上部消化管 (食道・胃) 國崎 主税 大島 貴 牧野 洋知 菅野 伸洋 木村 準 林 茂也		下部消化管(大腸・ 直腸・大腸化学療法) 金沢 周		上部消化管 (食道・胃) 國崎 主税 牧野 洋知 菅野 伸洋 木村 準 肝・胆・膵 上田 倫夫 山口 和哉		ヘルニア 瀬上 顕貴 肝・胆・膵 上田 倫夫 小笠原康夫 山口 和哉	
	緊急対応		押 正徳	小笠原康夫		小暮 悠		清水 康博		山口 和哉	

2013年各施設入院手術統計

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜船員保険病院	横浜掖済会病院	N T T 東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院かみくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	宮古島徳州会病院	熊本赤十字病院	港南台病院
頸部																								
甲状腺癌	亜全摘術			2	6						1	47							1		26		1	
	全摘術									2	2	10											4	
	その他										1	3			1								1	
甲状腺腫	亜全摘術				1							40						1			7			
	葉切除術										2	10			1	1					56			
	その他																							
正中頸嚢胞	切除術																							
耳下腺腫瘍																								
その他				7							1	13	3				1				6		24	
乳腺																								
乳癌	拡大乳房切断術（＋形成）																							
	定型的乳切術（＋形成）								1					4		27		1						
	非定型的乳切術（＋形成）	19	107	12	31	16	3	12	103	76	77	25			1				115		5		20	
	部分切除術（乳房温存）	32	106	4	42	59	5	4	80	46	64	41		8	1	20			103		7		93	
	その他		10		2				29		1								12		4		2	1
乳癌局所再発	切除術（＋形成）			1	3	6			1	9		3				2					1		3	
	その他											1		1										
良性腫瘍	単純乳切除術		2													1								
	腫瘍摘出術		5	1		17		12	18	1	21	8							28		8		5	
	その他								5										4					
その他		2							19	3				25									1	
胸部																								
原発性肺癌	肺切除術					1															1		3	
	肺葉切除術				28							6									9		2	
	部分切除術（胸腔鏡）				5							4									2		30	
	その他				1																			
転移性肺癌	肺葉切除術				3																1			
	部分切除術（胸腔鏡）				9							3		1							11		1	
	その他																							
その他の肺腫瘍					9							1									2		7	
縦隔腫瘍	胸腺摘出術				4							4									1		5	
	その他				3							2									2		2	
膿胸	ドレナージ術			1								2									2		6	
気胸	ブラ縫縮切除術				4																		1	
	ブラ縫縮切除術（胸腔鏡）				8							4									16		21	
その他	（肋骨腫瘍切除）			1	15							1									1		29	
食道																								
食道癌	食道抜去術													1										
	3 領域郭清															11								
	2 領域郭清	6	18	8	5	8	1			8	3	1		1		4					2			
	頸部食道＋喉頭全摘																							
	その他		3			1		1								9								
良性腫瘍	切除術																							
食道静脈瘤	離断術		1																					
	術中硬化療法																							
その他	空腸瘻造設			1																				
	噴門形成術					2																	38	

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜船員保険病院	横浜掖済会病院	N T T 東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院から乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	宮古島徳州会病院	熊本赤十字病院	港南台病院
胃十二指腸																								
胃癌	腹腔鏡(補助)下噴門側胃切除術	2		1						2	2						1							
	幽門側切除	10	17	14	17	40	7	20		48	17	33	4	14	12	39	1	2			12		35	
	腹腔鏡(補助)下幽門側胃切除術	11	38	11	6					46	8	9		4	1	56	2				5		39	
	幽門保存胃切除術				2	3																		
	腹腔鏡(補助)下幽門保存胃切除術	5			10																			
	胃全摘術	10	12	24	24	8	6	16		32	20	16	2	10	10	12		1			10		24	
	腹腔鏡(補助)下胃全摘術	2	37		1					14		1				3								
	d																							
	LUAE																							
	PD																							
	胃空腸吻合術			1	2	6		2		3	2	2		2	1	8	1	1			9		5	
	腸瘻造設術					2									2	3								
	部分切除術				1	2				1				2		1		1			1			
	その他(試験開腹術含む)	18	37	2	1	4	1	1		5	8	12				3	1				2		2	
残胃癌	残胃全摘術	2	3	1	2	7		1			2	4		2	2	4							2	
	残胃空腸吻合術															1								
	腸瘻造設術																							
	その他							1			1	3												
胃粘膜下腫瘍	部分切除術		3		3	2					1			1	1								7	
	腹腔鏡(補助)下部分切除術		4		1						3					5							4	
	幽門側切除術		1		1																			
	胃全摘術	1																						
	その他		1																					
胃悪性リンパ腫	幽門側切除													1										
	胃全摘術				1																			
	その他					3				1														
胃潰瘍	胃全摘術																							
	広範囲胃切除術																	1					1	
	迷走神経切離術																							
	胃部分切除術																	1					1	
	その他				4	2				3	5	3	1	1	1								2	
肥厚性幽門狭窄	筋層切開																						3	
十二指腸癌	PD			1	1		1			1	1	3		1		1								
	胃空腸吻合術				1																			
	部分切除術					1					1			2										
	その他		1																					
十二指腸潰瘍	広範囲胃切除術																						1	
	迷走神経切離術																							
	単純閉鎖術						2			7	1													
	単純閉鎖術+大網被覆術			3	3	1		3			3	2		4		3							17	
	大網被覆術(腹腔鏡)				1																1		3	
	その他				1					2		1			1									
十二指腸 GIST	部分切除術													1										
その他				1			2			6	2	1	1										14	1
大腸																								
結腸癌	腸切除術	11	22	35	60	24	23	42		68	41	72	7	36	23	65	4	2			39		33	
	腹腔鏡下切除術	47	121	22	55	71	4	5		63	46	68	2	1	3	79	5				15		70	
	非切除人工肛門	5	10	1		1	1			14	4		1	2		10					5		4	
	その他	2		1		1					10	1				2								

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜船員保険病院	横浜救済会病院	N T T 東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院かみくら乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	宮古島徳州会病院	熊本赤十字病院	港南台病院
直腸癌	前方切除	1	3	18	20		8	4		9	17	34	4	10	10	20	2	3			10		1	
	ISR			3							2	1											5	
	腹会陰式切除術			1	8	1	1	5			8	1	1	2	1	8					2			
	腹仙腹式切除術					1				1		6			1									
	仙骨腹式切除術				1																			
	骨盤内臓全摘術		1								2	1												
	腹腔鏡下切除術	17	80	8	30	31	1	2		65	11	30	1			23	2				9		35	
	非切除人工肛門	3	9	1	5	2	3	2		7		4	6			4					7		3	
肛門癌	その他（Hartmann を含む）	1	2	4	5	2		7		2	2	4	1		1		1				7		2	
	直腸切除術		1		1							1												
	局所切除術											2												
	非切除人工肛門		1		1					1		1												
再発結腸癌	その他									1				1										
	腸切除術	1	4	2	1					1					1									
	非切除人工肛門																							
再発直腸癌	その他	1	3	1		2					7	44		1		1								
	直腸切除術			2																				
	骨盤内臓全摘術																							
	局所切除術													1										
	膵経リンパ節郭清術		1																					
	非切除人工肛門		1													4	1							
結腸ポリープ	その他					1					1	1											1	
	腸切除術（腹腔鏡を含む）			3						2	1	1											2	
	腸切開ポリープ切除術													2										
直腸ポリープ	その他																						1	
	腸切除術										1	1												
	腸切開ポリープ切除術																							
	経肛門的切除術		3	1	1		1			2	1	4			1	4					73	7		
肛門ポリープ	その他																							
	切除術										1	1	1			6	1	509						
大腸憩室炎	切除術		2	1	3	9				9	13	2		3									13	
	ドレナージ術				1									1									1	
	その他									4														
大腸カルチノイド	切除術		5	1	1						1	1				3								
大腸悪性リンパ腫	切除術																							
人工肛門状態	閉鎖術	7	26	5	11	7	1	1		30	18	16	2	7	6	18					6		27	
潰瘍性大腸炎	大腸全摘術		13		17																			
	大腸全摘術		10		60																1		4	
	残存直腸切除術		8		17																			
	空腸部分切除術				2																			
	その他		1		28																1		1	
Crohn 病	小腸部分切除		26		77							2				3							2	
	結腸切除術		10		103	1																	1	
	その他（Seton）		2		24																			
腸結核						1											1							
Meckel 憩室	切除術				1		1			1														
小腸腫瘍	切除術	1			5	2				4	2	2			1	1							5	
	その他										2										2			
その他		1	5	7		6	3	8		36	13	12				3	1	1					37	

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合病院	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜船員保険病院	横浜救済会病院	N T T 東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院から乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	宮古島徳州会病院	熊本赤十字病院	港南台病院
肛門																								
痔核	結紮切除術			5	3		2	5		5	4		1	2	15	78	2			1966	184			
	PPH 法			7																				
痔瘻	根治術	1		5	7		1	1		3	2		1		5	40	2			1076	87		3	
肛門周囲膿瘍	切開排膿術			2			1	2			1	3	2		1					537	16		2	
裂腔							1				2		1			5				241				
直腸脱	Gant-三輪法など		2	1		1		2		5	6	5				6				74	15		1	
肛門狭窄		2											1			4				57			3	
その他				1	3			2			8									330	9		5	1
消化管その他																								
急性虫垂炎（幼児）	虫垂切除術			19	1	13	6			1	14			2										42
急性虫垂炎（成人）	虫垂切除術	12	5	53	94	46	9	42		60	43	134	12	43	2	52	19				64		142	
腸閉塞	癒着剥離術	1	8	2	8	15	5	2		13	7	10		3	2	17	2				17		20	
	腸切除術	3	5	11	6	12	4	14		3	13	25	2	7		8	1	1			3		22	
	吻合術	1	3	2			3			4	1	1		2									6	
	その他（人工肛門造設）		3	2		1					7				2								6	
腸重積	整復術																						2	
	腸切除術											2		1									3	
縫合不全	腸切除術				2		1			3	2							1						
	ドレナージ術	4	2							1											10		1	
	人工肛門造設術	2	5	1	2			2		2	4	4		2	1	1	2				5		3	
穿孔性腹膜炎	人工肛門造設術	2	5	1	6	4	1	2		3	6	4		5		3					1		8	
	ドレナージ	6	1	9	19	15	1	4		3	1	4		5	1						15		23	
残胃穿孔	ドレナージ																							
腸間膜腫瘍（腸切）						1					1			1										
その他		7		6						28	19	14					1						40	
肝胆道																								
原発性肝癌（HCC）	肝切除術	36	19	5	15	4				11	6			5	4	6					3		13	
	肝動注																							
	その他			1																			4	
原発性肝癌（CCC）	肝切除術	3	1	2		1								1	1	2					3			
	肝動注																							
	その他					1																		
転移性肝癌	肝切除術	42	19	6	19	10	5	3		13	16	6		1	8	4	1						5	
	肝動注																							
	その他			1																				
胆嚢癌	胆嚢摘出術		2	1	2						3			1									5	
	拡大胆摘(胆嚢床切除含む)	4	4		3	1				3	1	5		1	2	3							7	
	S4下5切除														1									
	拡大肝切除術	1																						
	肝切除+PD	1																						
	その他		2		4						1													
胆管癌	PPPD（+肝切除）				4		1																9	
	PD（+肝切除）	2	2	7	1	3				5	1			2	2	7	1				1			
	総胆管空腸吻合術					1							1								1		1	
	その他															2								
乳頭部癌	PPPD				3																		7	
	PD	4	2	2		4		1		7	1	2				2								
	胃空腸吻合術															1								
	その他（試験開腹）		1																					

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜船員保険病院	横浜救済会病院	N T T 東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院から乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	宮古島徳州会病院	熊本赤十字病院	港南台病院
肝門部胆管癌	肝切除術	21		2	2						1				1									3
	胆管切除術（拡大肝門部胆管切除+PD 含む）	5			1																			
	その他（胆管切除含む）	1																						
肝血管腫	肝切除術	1			1						1				1									
肝嚢胞	肝切除術	1														1								
	開窓術	1	1		1	3				1				1	1	1								
肝膿瘍	ドレナージ術			1							1													
	開窓術																							
肝内結石	肝切除術	1												1		2								
	その他																							
胆嚢結石	開腹胆嚢摘出術	11	14	16	18	33	6				18	33	15		11	6	3	3	2			19		27
	腹腔鏡下胆摘術	7	35	71	60	58	26				172	76	103	19	28	35	128	27				20		254
総胆管結石	胆総胆管切開術（T）			1		1		2			1					2								2
	胆総胆管切開術（R or C）	1	4	3	3						2	4	1		3	2								
	胆摘経胆嚢管的切石				2																			
	その他																							
胆嚢ポリープ	開腹胆嚢摘出術			1			1	36				1					3							
	腹腔鏡下胆摘術		1	2	4	4		37		7	2	6		3	2								11	
	その他		6																					
総胆管嚢腫	嚢腫切除胆道再建	2		1																				
膵胆管合流異常		1					1																1	
	その他																							
生体肝移植																								
その他（良性乳頭部胆摘総胆管切開術（R）				1							1	1												2
膵臓・脾臓																								
膵癌 (IPMN,MCNを含む)	PD	30	10	9	4	5		1		9	5	2		3	1	3					1			
	PPPD				7																		14	
	TP	1																					2	
	膵体尾部切除	10	6	1	3	3		1		5	1	5		1	1	7					1		15	
	部分切除		7		2																		1	
	試験開腹・生検		2					3		1								1			1			
	消化管バイパス手術			1	1	1		2		2													6	
膵嚢胞	切除術			1																				
慢性膵炎	PD																							
	PPPD				1																			
	その他			1											1									
ITP	脾臓摘出術（開腹）		1									1												
	脾臓摘出術（腹腔鏡）		1								1												2	
その他				1							1	2	2			5								6
ヘルニア																								
腹壁癒痕ヘルニア	根治術	4	1	5	6	6	5	2		9	12	13	6	2	5	16					8		20	
臍ヘルニア	根治術					1	1	1		5	1	3	1	1	2	3					3		25	
単径ヘルニア（幼児）	根治術			4	2	10	3			3	4	1											135	
単径ヘルニア（成人）	根治術（従来法）				5	1				1	3	1		2							62		2	
	根治術（腹腔鏡）				1					28		32	69		5						34		113	
	メッシュプラグ	2		69	124	106	18	70		106	61	94	5	62			7	1					2	
	PHS									1	11			16										
	その他			1		21	42			55	22		93	1	137	218	11						27	
大腿ヘルニア	根治術			4	4	5	6			8	6	6	2	5	2	3					2		5	
閉鎖孔ヘルニア	根治術				1	5	2	2		1	1	2									1		2	

		横浜市立大学附属病院	横浜市立大学市民総合	国立病院横浜医療センター	横浜市立市民病院	藤沢市立市民病院	伊東市市民病院	横須賀市立市民病院	横浜労災病院	横須賀共済病院	横浜市立みなと赤十字病院	済生会横浜市南部病院	済生会若草病院	横浜船員保険病院	横浜掖済会病院	N T T 東日本関東病院	長津田厚生総合病院	育生会横浜病院	湘南記念病院から乳がんセンター	松島病院	藤沢湘南台病院	宮古島徳州会病院	熊本赤十字病院	港南台病院
その他				4	2			1		5														8
血管																								
下肢静脈瘤	stripping						1						9	27										
動脈血栓症	血栓摘出術									1				1										
腸間膜動脈血栓症	腸切除術			3	3					2	1			2										6
門脈塞栓術						1										3								
肝動注カテーテル抜去																								
その他			1					1			1		18	24		116	3				16		12	1
術後出血	開腹止血				2										1	1	1						1	
	開胸止血					1								1							2			
後腹膜・腎																								
後腹膜腫瘍	腫瘍切除		1	4		2				1	1										2		12	
その他											2	2				5							27	
体表				48		6	6	40		110	37					25	28	3					29	2
その他				3		3	15	8		2		22		3							4		29	9

疾患別 5 年生存率

乳 癌

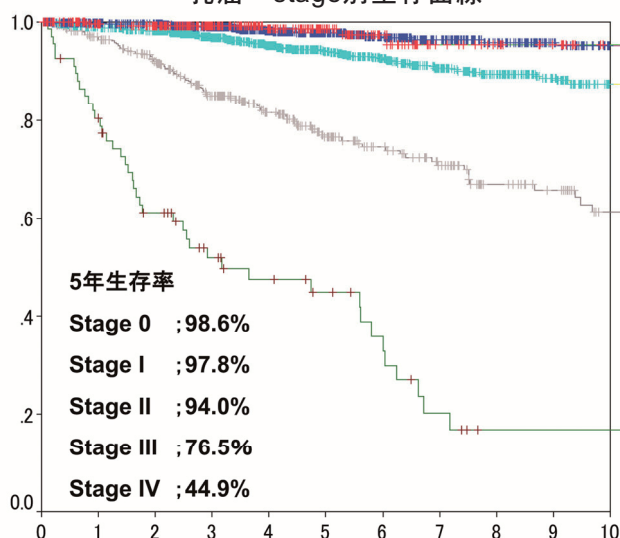
菅 江 貞 亨

1992年から2013年までの横浜市立大学付属病院および市民総合医療センターで手術を行った3281例について解析を行った。両施設合わせた病期別解析では、5年生存率が0期；97.5% I期；95.8% II期；92.7% III期；70.3% IV期；29.1%であり、10年生存率は0期；90.0% I期；89.9% II期；79.9% III期；48.7% IV期；7.0%であった。2013年手術件数は264件（附属病院53件、市大センター病院211件）であった。2007年以降は毎年250件以上の手術をさせていただける環境となっており、今後もこの状態を継続できるように努力を続けていきたい。

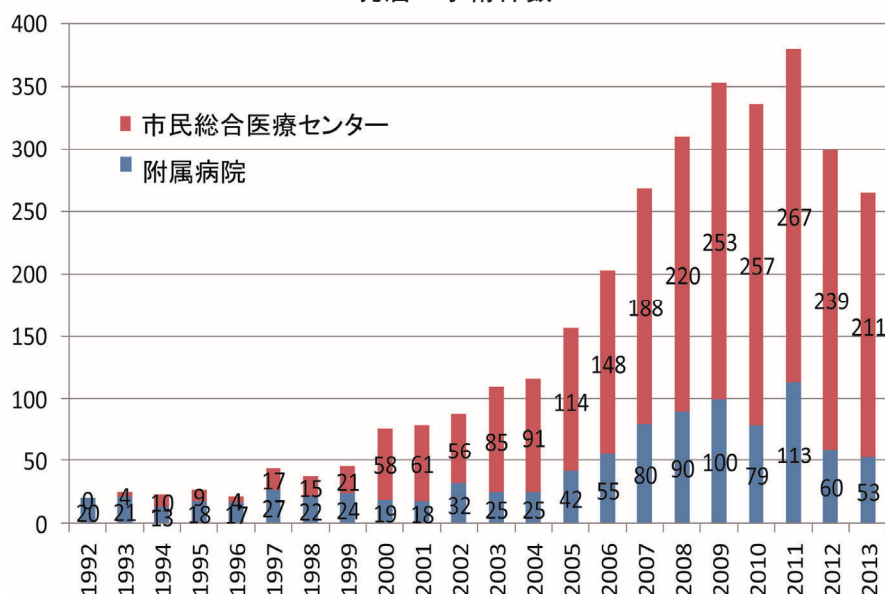
また、CSPOR、SNNS研究会などの全国的な臨床試験のほかに、YCOGやKBOGなど地域の臨床試験にも積極的に参加し続けている。特にYCOG研究では「進行・再発乳癌患者におけるGemcitabineの有効性と安全性の検討」がASCOで発表する機会をい

ただいた。今年度も関連各施設とも連携しながら臨床試験にも取り組んでいきたい。

乳癌 stage別生存曲線



乳癌 手術件数

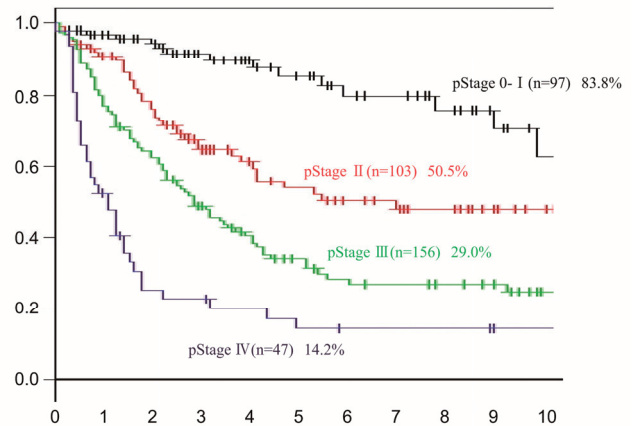


食道癌

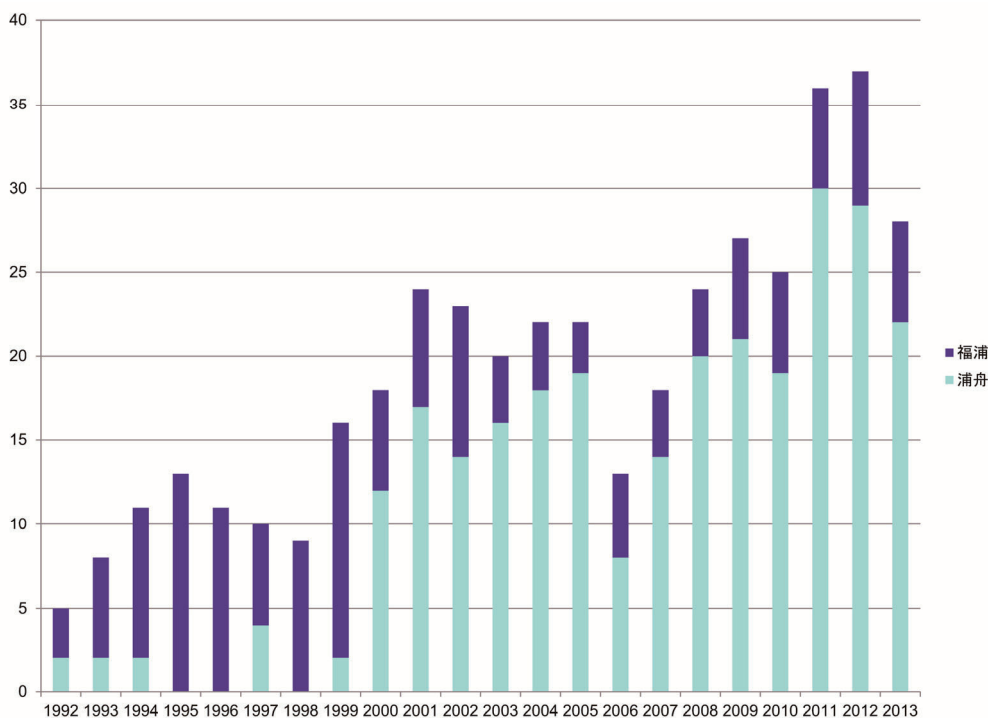
小坂 隆 司

2013年の切除症例は27例（福浦 6例、浦舟21例）であり、1992年より合計414例となった。全切除症例の5年生存率は44.5%であった。Stage別の5年生存率は0-I=83.8%、II=50.5%、III=29.0%、IV=14.2%であった。またリンパ節転移個数別の5年生存率は0=67.1%、1-3個=39.3%、4-6個=15.3%、7個以上=24.6%であった。stageII,III進行食道癌に対しては術前化学療法（NAC：FP）を施行しており、cT4食道癌に対しては放射線化学療法（NACRT：FP+40Gy）を施行し、切除可能となった症例には根治切除を施行している。NACRT後の切除例は23例となり、MST=38か月と良好な結果を得ている。

食道癌 stage別生存曲線



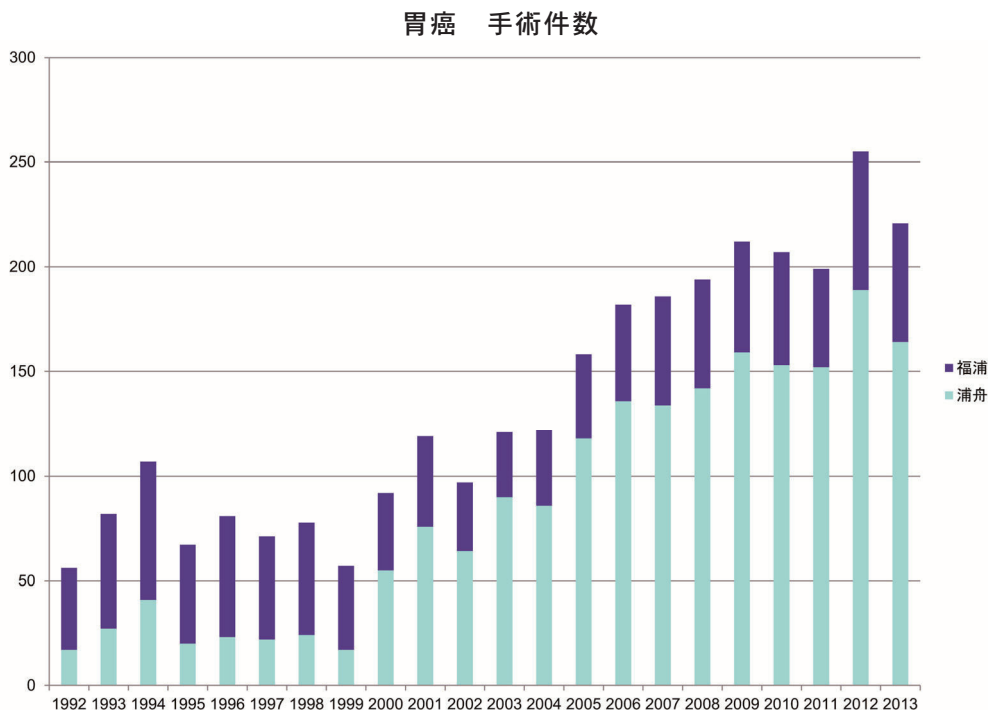
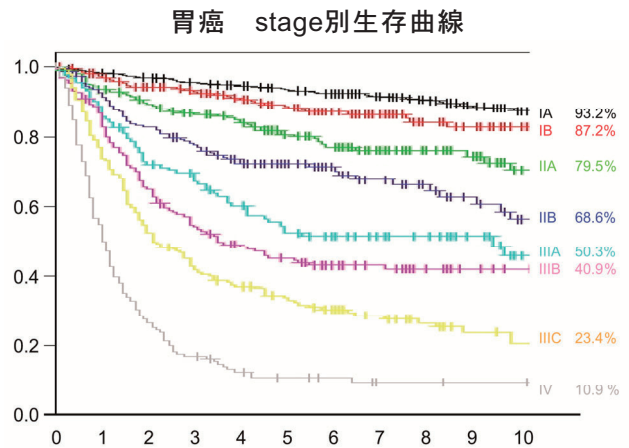
食道癌 手術件数



胃 癌

小 坂 隆 司

2013年の切除症例は255例（福浦57例、浦舟165例）で1992年より3369例となった。全切除症例の5年生存率は72.4％であった。Stage別の5年生存率は、IA=93.2％、IB=87.2％、IIA=79.5％、IIB=68.6％、IIIA=50.3％、IIIB=40.9％、IIIC=23.4％、IV=10.9％で全国集計と比較して遜色ない成績であった。腹腔鏡手術の適応をT3（SS）、N1まで拡大しており、半数以上（52.6％）が腹腔鏡手術となっている。また、センター病院を中心に早期癌に対しては2portsでのReduced ports gastrectomyも行われている。術前化学療法としてstageIII症例にはDCS（TS-1+DOC+CDDP）が行われている。今後も腹腔鏡手術・術前化学療法を中心の症例を蓄積していきたい。

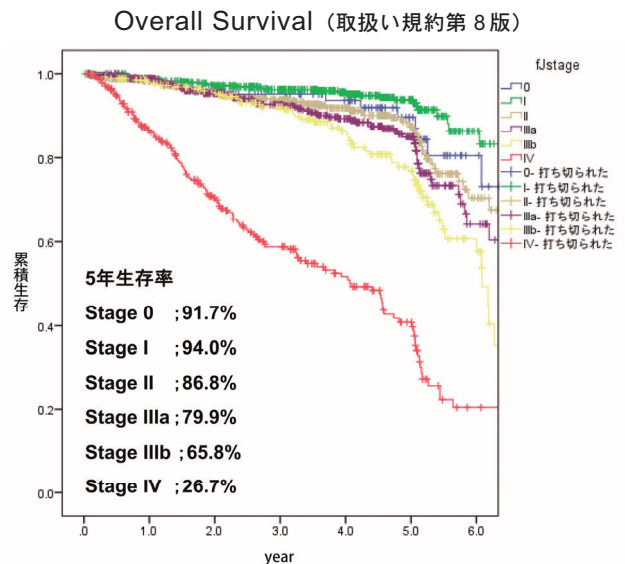
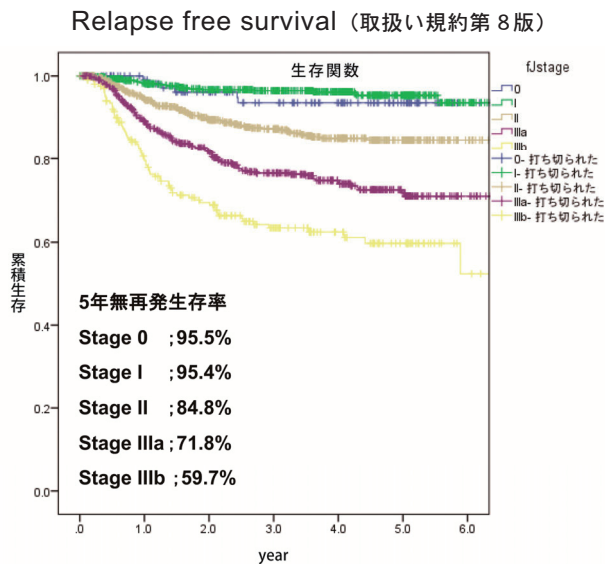


大腸癌

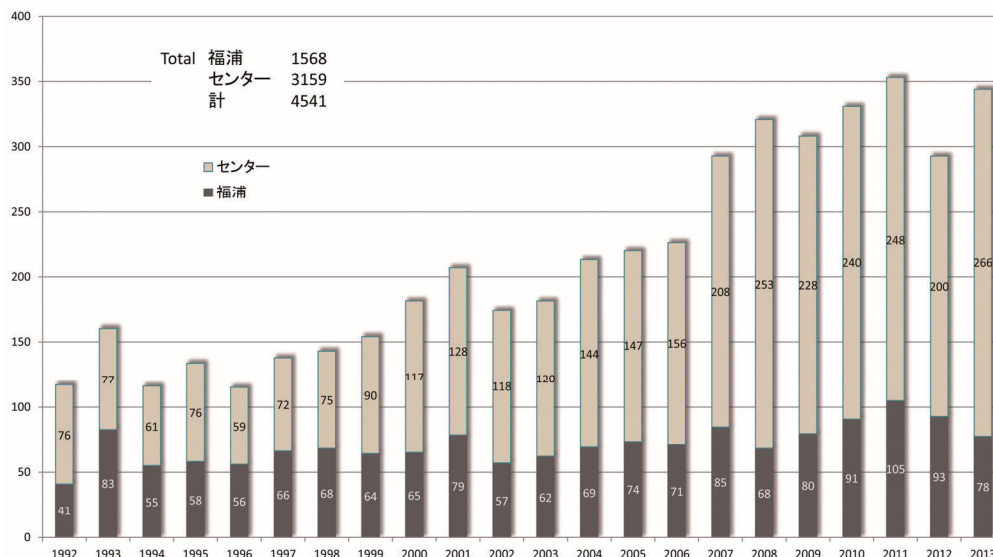
石部 敦 士

平成25年度の手術件数は福浦78件、消化器病センター266件で合計344例と過去最高でした。腹腔鏡下手術の割合は年々増加し、今年度は85%が腹腔鏡下手術となっています。SILSや腹腔鏡下側方郭清などの新しい手技も軌道にのり、学会等でも発表を重ねています。内視鏡外科技術認定医試験にも1名合格いたしました。臨床研究においては、

直腸癌治療の術前化学療法の第Ⅱ相試験や単孔式腹腔鏡下手術の有用性を多孔式と比較検討するSIMPL studyなどを行っています。大腸癌の大きな流れ、手術の低侵襲化、周術期成績の向上と集学的治療など各分野で日本をリードするevidenceを確立できるよう日々精進しております。



大腸癌 手術件数



炎症性腸疾患

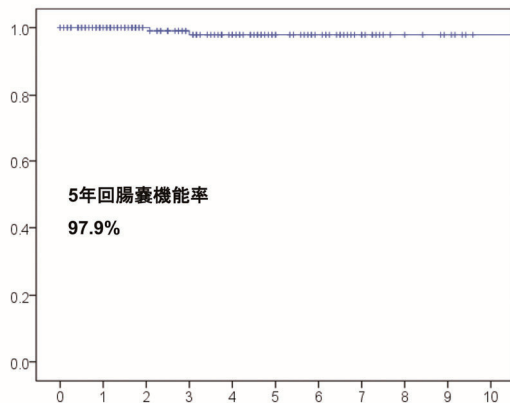
木村 英明

センター病院の2013年炎症性腸疾患（IBD）総手術件数は87件でした（潰瘍性大腸炎初回手術23例、2期目再建手術8例、Crohn病37例、他）。

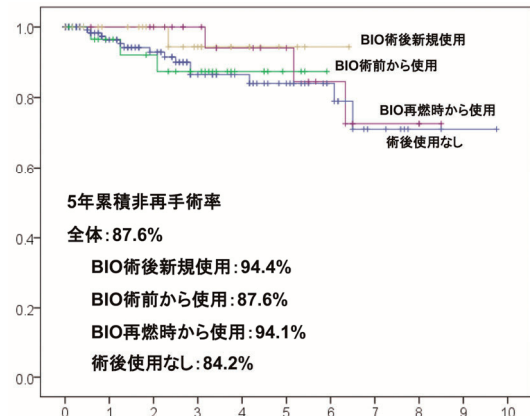
2000年からの潰瘍性大腸炎の累積手術例は325例、当科初回手術例は311例で、手術適応は難治197例（63%）、重症96例（31%）、癌、dysplasia18例（6%）、1期的手術は184例（59%）、腹腔鏡補助下手術（HALS）は61例（20%）、緊急手術は85例（27%）でした。術後排便機能は経時的に回復し、術後1年における一日排便回数は 7.7 ± 3.0 、漏便（soiling）は14%で、回腸囊使用例の回腸囊機能率は5年で97.9%でした。

Crohn病の累積手術件数は577件で、腸管病変に対する手術は505例、標準術式は小範囲切除、狭窄形成術としており、86例（17%）を腹腔鏡補助下手術でおこないました。肛門病変に対する手術は116例で、標準術式はseton法ですが、32例（28%）は人工肛門造設を要しました。腸切除例における生物製剤使用後の累積再手術率は5年で12.4%と、以前の当科の報告（5y：35%）と比較して低下していました。術後生物製剤使用例で非使用例に比較して再手術率は低下していますが、生物製剤導入のタイミングについては引き続き検討を続けていきます。

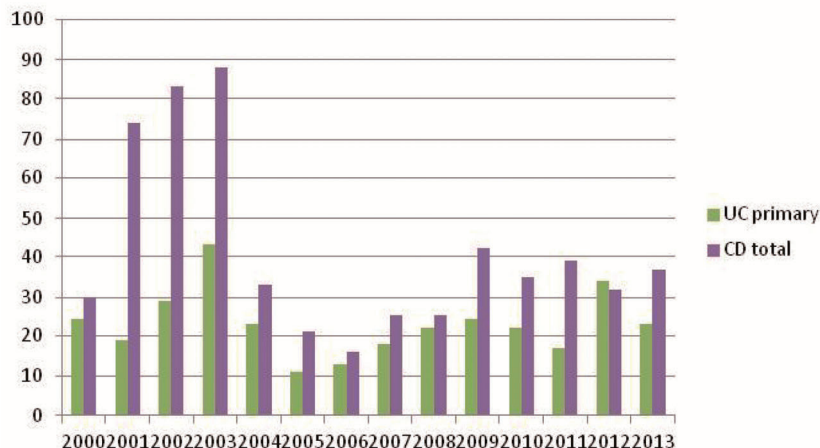
潰瘍性大腸炎術後回腸囊機能率



Crohn病 術後治療別再手術率



炎症性腸疾患（IBD）手術件数の年次推移



原発性肝癌

熊本 宜文

2013年度の原発性肝癌新規登録症例は52例で、初回肝切除50例、再肝切除は2例であった。腫瘍数は単発38例、2個9例、3個4例、4個1例であった。腫瘍径は9-180mmで中央値は40mmであった。100mm以上の巨大肝癌は5例であった。背景肝は非B非C型（NBNC）肝癌の割合が48%と昨年に引き続き増加し50%に迫る勢いである。NBNC肝癌の多くは大量飲酒や非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）由来であり、特にNASH由来の肝癌症例では、糖尿病、虚血性心疾患などの併存症が多く術前の評価や術後管理が重要となってきた。

1992年から2013年までの548例の切除例のうちR2切除を除外したStage別5年10年生存率はそれぞれ、StageI：78.8%、48.3%、StageII：68.3%、44.6%、StageIII：44.5%、32.6%、StageIV：33.6%、10.3%であった。予後規定因子は、肝内転移陽性、Liver damage A以外、ICG20以上、AFP400以上、腫瘍径50mm以上、fc-inf陽性であった。

初回肝切除の治療方針は「科学的根拠に基づく肝癌診療ガイドライン2013年度版」の治療アルゴリズムに原則従っているが、肝障害度AまたはBで腫瘍数4個以上の症例に関してはアルゴリズムでは①塞栓療法②化学療法となっているが、肝機能が許せば肝切除を行っている。その根拠としては、当科の腫瘍数4個以上肝切除例のMSTが35か月であるのに対し、第18回全国原発性肝癌追跡調査報告のTACEの成績は腫瘍数4個でMST28か月、5個以上では18か月であり、一概には比較できないが切除が優れている可能性があるため症例を集積中である。

再肝切除の治療方針も「科学的根拠に基づく肝癌診療ガイドライン2013年度版」の初回肝切除の治療アルゴリズムに原則従っているが、初回肝切除からの再発が1年以内かつ、初回肝切除時のvp因子が陽性の症例は早期に再発をきたすため、このよう

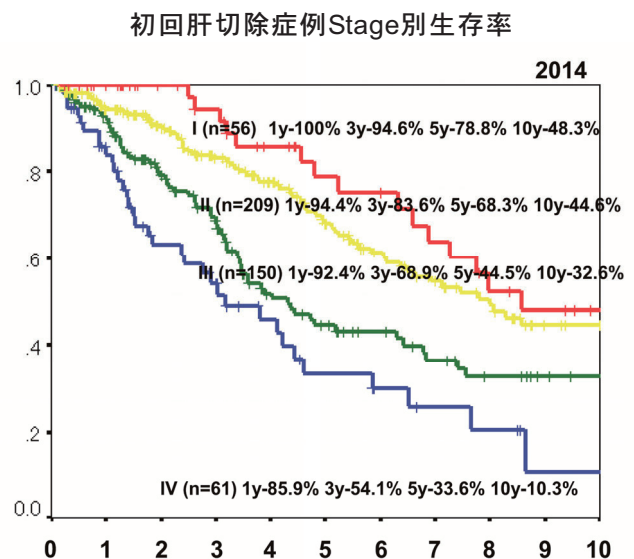
な症例は慎重に適応を決定している。

術前肝機能評価に関しては、99mTc-GSA SPECTとCT融合画像による分肝機能評価を行い、術前肝不全予測に応用している。99mTc-GSA SPECT/MDCT融合画像は門脈塞栓術後に有用であり、門脈塞栓術後は体積変化以上に肝機能が非塞栓葉に移行していることが示唆されており、適応の拡大が期待される。

手術手技に関しては、腹腔鏡下肝切除術を積極的に取り入れており、2013年度は初回肝切除症例50例のうち14例（28%）が腹腔鏡下または腹腔鏡補助下肝切除術であった。葉切除、区域切除、亜区域切除などの系統的切除も完全鏡視下で行っている。

術後管理に関しては、周術期の新鮮凍結血漿投与基準決定のための段階的前向き研究を行っている。またERASの導入を行い、2013年度の平均在院日数は12.2日と短縮してきている。

基礎研究では、肝不全動物モデルの病態解析並びに治療を継続しており、肝不全の新たな治療を模索している。



転移性肝癌

武 田 和 永

当科では、大腸癌肝転移に対して、1992年より2013年末で503例に初回肝切除を実施してきました。2013年は累計61例の肝切除を施行しました(図1)。このうち、初回肝切除症例の5年生存率は48.7%でした、(図2)。さらに、残肝再発症例に対しても、積極的な再肝切除療法を施行しており、1992年より89例(累計)の患者様に対し、切除を実施してきました。5年生存率は42.5%で、良好な成績を保っております。

現在の課題は、他院で、切除不可能と判断された肝転移症例に対し、化学療法・術式を組み合わせることで、切除を可能にすることと考えています。

一般的に、1) 両葉多発腫瘍(4個以上) 2) 8cm以上の巨大な腫瘍 3) 腫瘍脈管の浸潤している腫瘍 4) 予定残肝が小さい場合 5) 肝臓以外に転移巣が存在する場合には、切除困難例と判定される場合が多いのですが、当院では、このような患者様に対し、臨床腫瘍科とも密に連携し、術前化学療法を実施することで、腫瘍の縮小後に、肝切除を実施する戦略をたてています。特に、転移巣が肝臓のみにとどまっている場合、Chronomodulated肝動注療法を併用した術前化学療法を考慮しています。

さらに、切除後の予定残肝が小さい場合には、肝臓の再生能を利用して、門脈塞栓術併用切除を含めた多段階肝切除や、3D画像を利用した血管合併切除併用肝切除を実施しています。また、短期

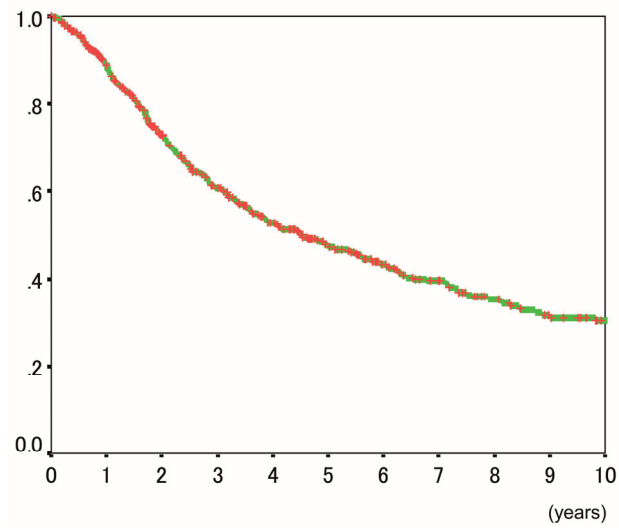
間で良好な肝再生が得られるALPPS手術も2013年より導入し、2014年5月現在、8例に施行しました。

1) 多段階切除について

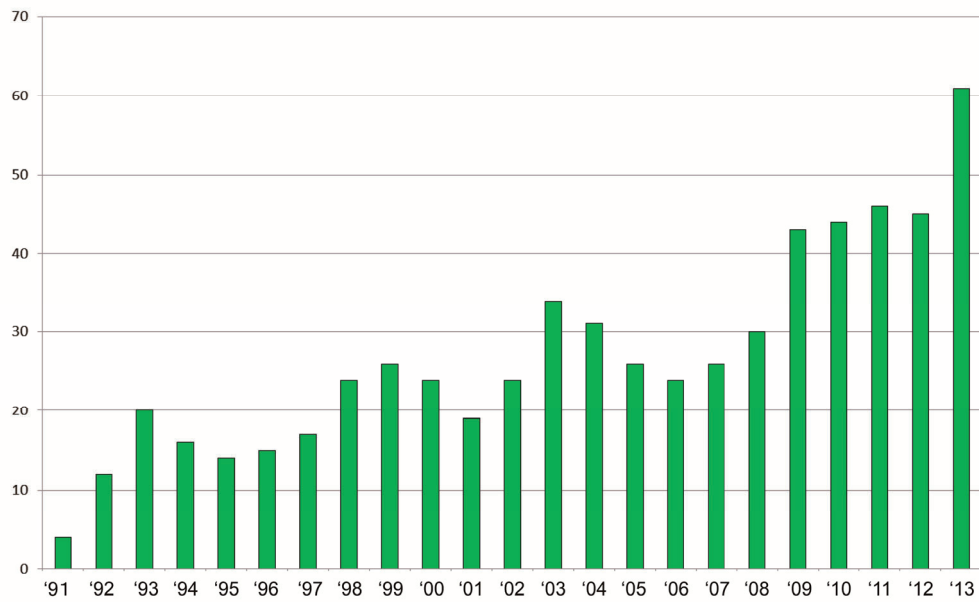
肝切除後の予定残肝が小さいことが予想される場合、肝臓の再生能を利用して、計画的2期的肝切除を実施しています。両葉の多発肝転移を認める場合、初回肝切除として、左葉部分切除および、右門脈塞栓術を実施します。この結果、肝臓右葉には、栄養分の豊富な門脈血流が絶たれ、酸素が豊富な動脈の血流のみが供給されることとなるため、右肝臓は、壊死に陥ることなく、委縮していきます。一方、残る予定の左肝臓には、門脈血流と、動脈血流が供給されるため、再生していきます。約4週後に、残肝予定の左肝が再生することを確認して、肝右葉切除を実施します。

以上のような工夫をしながら、当科では、大腸がん肝転移の患者様に対し、最大限安全な手術療法を施行しており、さらに、臨床腫瘍科・大腸グループとも、連携しながら、大腸がん診療をすすめております。また、当科では、大腸がん肝転移症例の他に、婦人科疾患、神経内分泌腫瘍、胃癌などからの肝転移の患者様に対しても、肝切除が有効な治療となる場合があり、このような場合には、積極的に切除療法を選択しています。

転移性肝癌 生存率



転移性肝癌の総切除数



胆道悪性疾患

松 山 隆 生

胆道悪性疾患の本年度の切除手術症例数は福浦、センター病院あわせて胆嚢癌12例、中下部胆管癌4例、肝門部胆管癌27例（広義の肝門部胆管癌）、Vater乳頭部癌6例、肝内胆管癌4例と合計で53例だった。肝内胆管癌を除いた胆道癌取り扱い規約上の胆道癌切除数は1992年5月から486例となり、年々切除数が増加してきている。当科ではこれまで横浜市内・神奈川県下から多数の貴重な症例をご紹介いただいているが、いずれの症例も他院では様々な理由で治療が困難であると診断された症例であり、術前治療から手術、術後補助化学療法に至るまで難しい問題をいくつも解決していかなければならない。

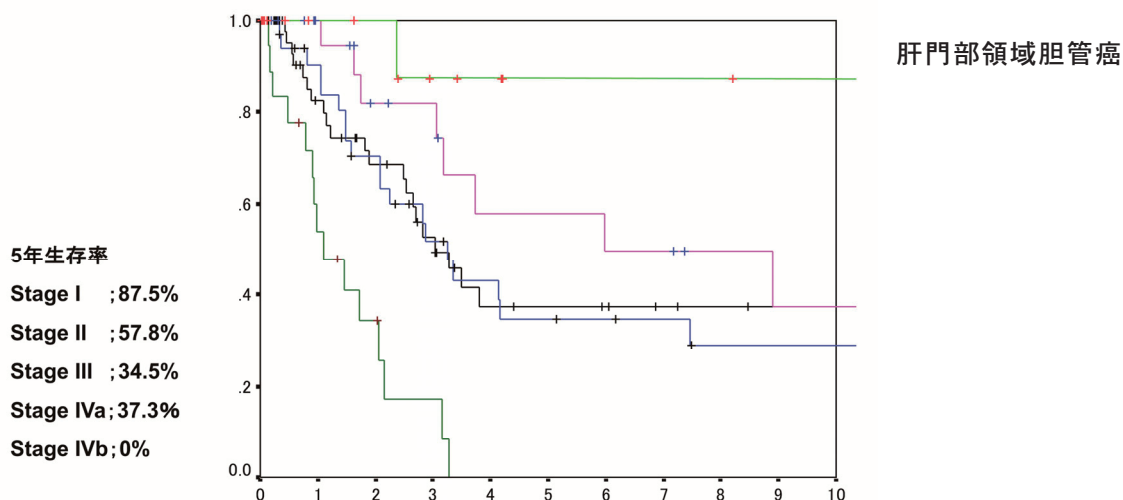
胆嚢癌は本年度12例の切除症例を経験し1992年から117切除症例となった。切除症例全体の5年生存率は53%、MSTは73ヶ月（非切除症例はMSTが7ヶ月）であった。ステージ別の5年生存率はStage I:94%、II:94%、III:53%、IVa:7%、IVb:14%であった。

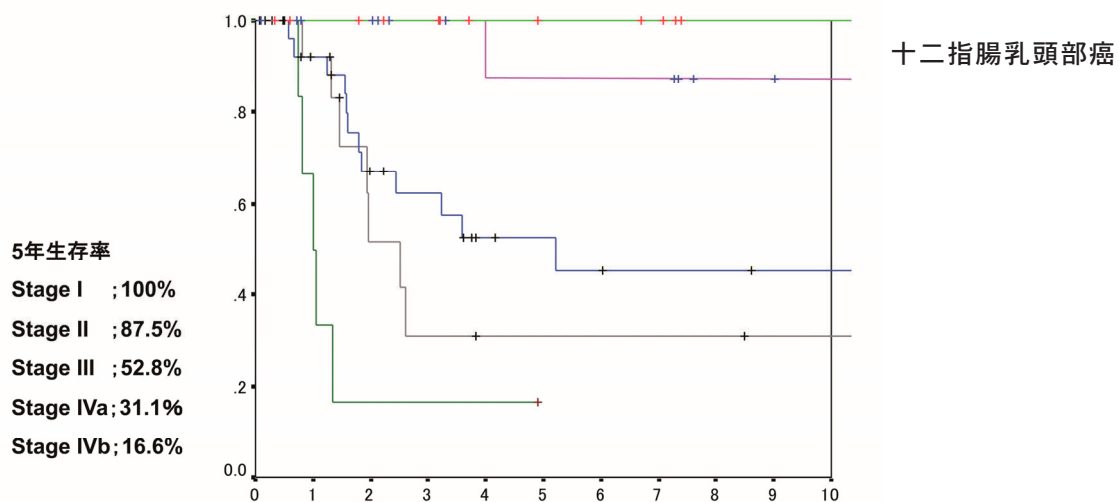
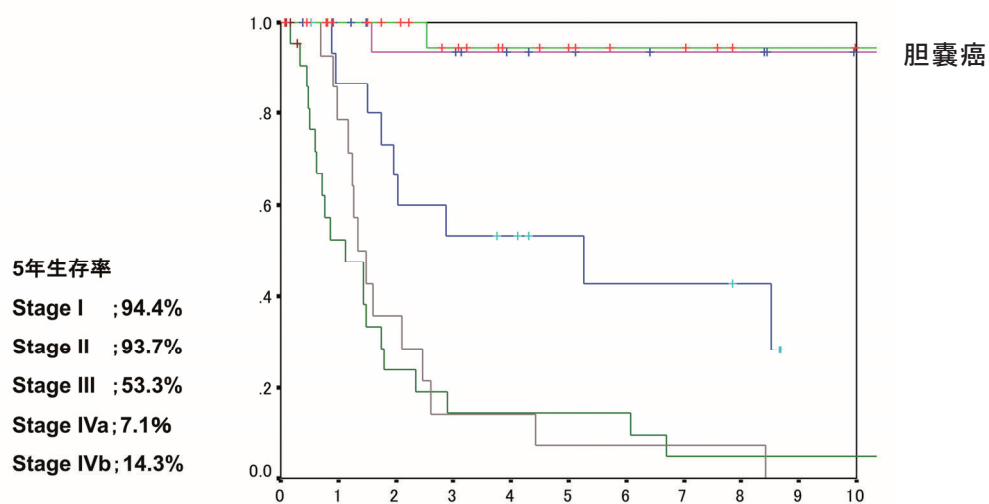
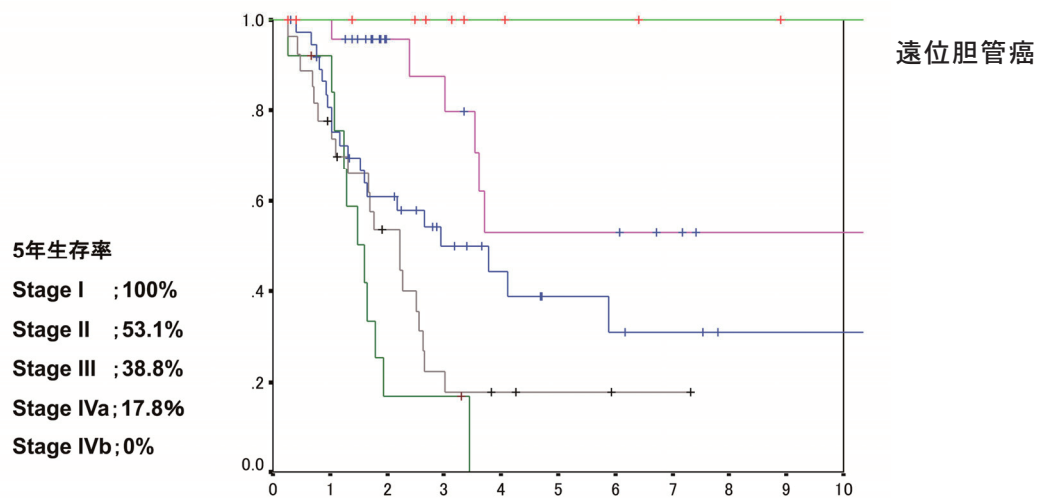
肝門部胆管癌は本年度27例の切除症例を経験し

1992年から広義の肝門部胆管癌は167例となった。切除症例全体の5年生存率は39%、MSTは39ヶ月（非切除集学的治療症例はMSTが13ヶ月）であった。ステージ別の5年生存率はStage I:88%、II:58%、III:35%、IVa:37%、IVb:0%であった。治癒切除率は75%で胆道癌のなかで最も不良であった。肝門部胆管癌の手術は高難度手術であり合併症発生率は55%、在院死亡率も5%であった。

中下部胆管癌は本年度4例の切除症例を経験し1992年から118切除症例となった。切除症例全体の5年生存率は39%、MSTは36ヶ月であった。ステージ別の5年生存率はStage I:100%、II:53%、III:39%、IVa:18%、IVb:0%であった。

胆道癌に対する最も効果的な治療法は外科的切除であることは論を待たないが術前化学療法、放射線療法、術後補助化学療法、胆道ドレナージ術、胆管炎のマネージメントなど多岐にわたる手技と知識が必要である。今後も手術手技、知識の向上、研鑽、教育に邁進していきたい。





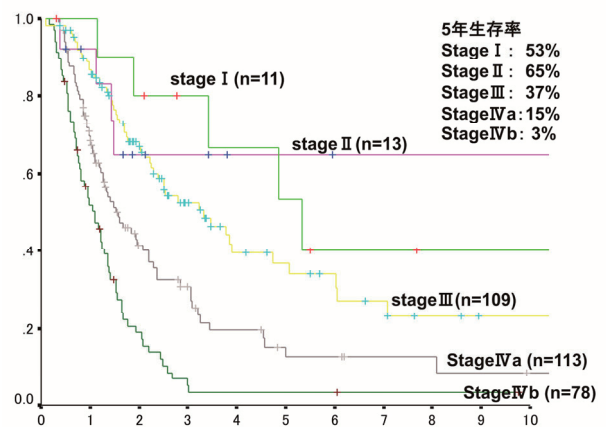
膵 癌

谷 口 浩 一

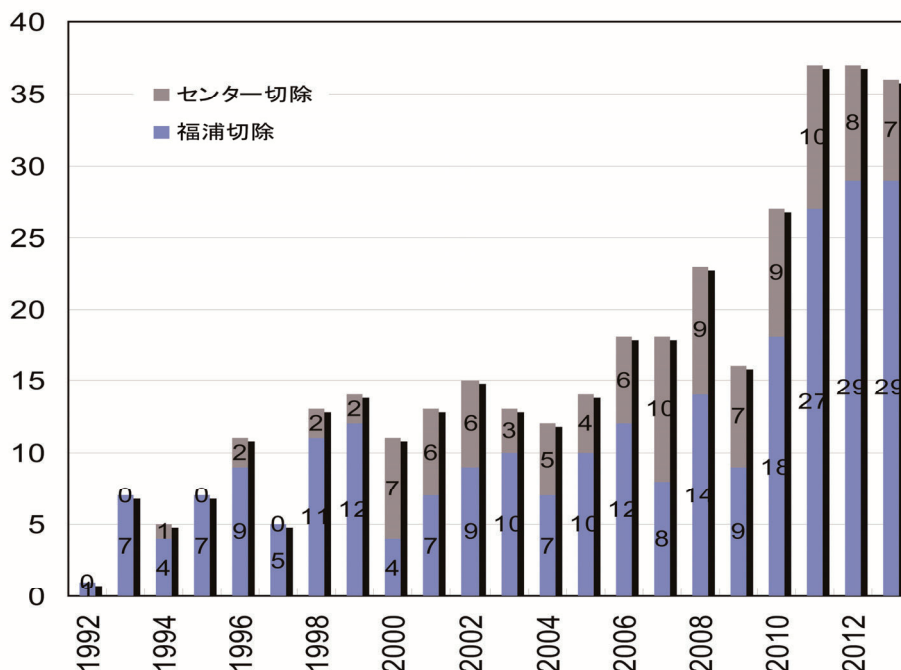
2013年度の通常型膵癌切除は36例（福浦29例、浦舟7例）で前年度とほぼ同数であった。累積症例数は全体で536例、切除324例で切除率は60%となった。福浦の術式の内訳は膵頭十二指腸切除24例（うち術前化学放射線療法後切除15例、門脈合併切除20例、動脈合併切除2例）、膵体尾部切除4例（うち術前化学放射線療法後切除2例、DP-CAR1例）、残膵全摘1例であった。切除例全体の5年生存率は23%と年々少しずつ改善がみられている。特に術前化学放射線療法を開始した2008年以降の症例に限ると38%と良好な治療成績が得られている。StageⅣに対する術前化学放射線療法後切除61例の5年生存率37%、生存期間中央値24.5か月と良好な成績であり、今後も継続していく予定である。2013年度には切除癌組織を用いた、術後補助療法としての樹状細胞ワクチン療法の検討も開始し、免疫治療も取り入れた治療成績の向上を目指していく予定である。また、2014年度からはYCOGにて局所

進行切除不能膵癌に対するFOLFIRINOX療法後の原発巣切除の有効性、安全性を検討する第Ⅱ相臨床試験を開始する予定であり、高度進行癌での治療成績向上を図っていく予定である。

膵癌 stage別生存曲線



膵癌切除例 年次別症例数



生体肝移植

武 田 和 永

当院での肝移植は、1997年にはじまり、2014年4月現在、計60例となりました。1年生存率は79.1%、5年生存率は69.3% (図1) です。原疾患の内訳は、

1. 肝細胞癌 (n=13), 2. B型肝炎肝硬変 (n=12), 3. 劇症肝炎 (n=10), 4. 原発性胆汁性肝硬変 (n=8), 5. C型肝炎肝硬変 (n=4), 6. アルコール性肝硬変 (n=4), 7. 原発性硬化性胆管炎 (n=2), 8. 自己免疫性肝炎 (n=2), 9. 胆道閉鎖症 (n=2), その他となっています (図2)。

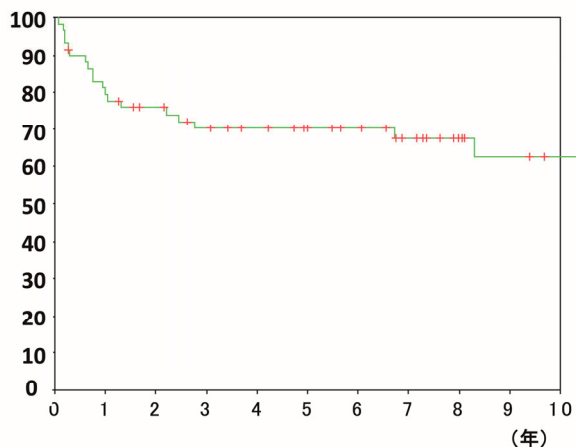
2010年7月にわが国では、改正臓器移植法が施行されました。その後、脳死肝移植数が急増し、改正後1年間で55例からの脳死肝臓提供がありました。一方、現在、成人に対する脳死肝移植実施施設は、全国19施設ありますが、関東地方では、慶応大学、順天堂大学、東京大学、信州大学の4施設です。現在、神奈川県下で成人の肝移植を行っている施設は当院のみで、かつ、横浜は、全国一番の人口を有する政令指定都市であるという社会的背景から、今後当院でも、脳死肝移植施設認定を目指すことが、本学倫理委員会でも承認されました。そのため、当院でも、院内スタッフの肝移植に対する意識を高める

ため、横浜肝移植セミナーを定期的を開催しています。2014年4月の開催で、計3回目となりました。

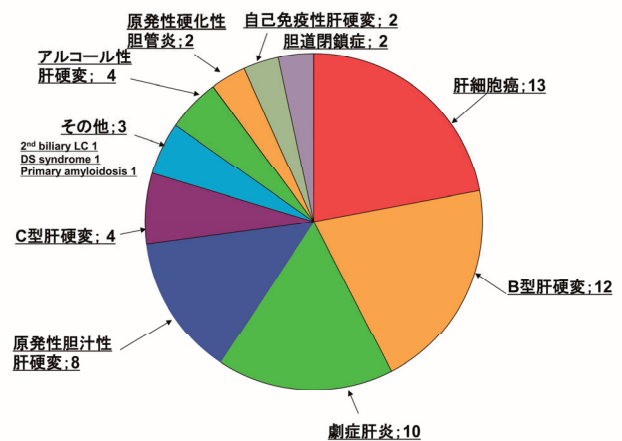
肝移植後は急性拒絶反応発症をおさえるため、免疫抑制剤の使用が必須です。しかし、その一方で、感染症を合併率が、他の消化器外科手術に比較して高率といわれています。当院で施行した肝移植症例中、46.6%が敗血症に陥りました。そこで、感染症予防の取り組みとして、56例目より、栄養療法改善目的に術前からのシンバイオティクス栄養療法導入を導入し、さらに、59例目より、至適免疫抑制のモニタリングを行うため、Immuknow®を採用しています。その結果、前期 (#1-#55) と後期 (#56-#59) における、敗血症合併率 (47.2% vs. 40%)、在院日数 (81 ± 66.3 日 vs. 45 ± 12.5 日)、術後3ヶ月時点のアルブミン値 (3.3 ± 0.53 g/dl vs. 3.8 ± 0.57 g/dl) は、有意差はないものの、改善傾向にあり、特に、後期群は、全例生存中です。

一方、C型肝炎ウイルス再発や肝細胞癌再発などの原疾患再発治療に関して、退院後は、消化器内科、さらに臨床腫瘍科と連携して診療を行っています。

横浜市大 肝移植成績

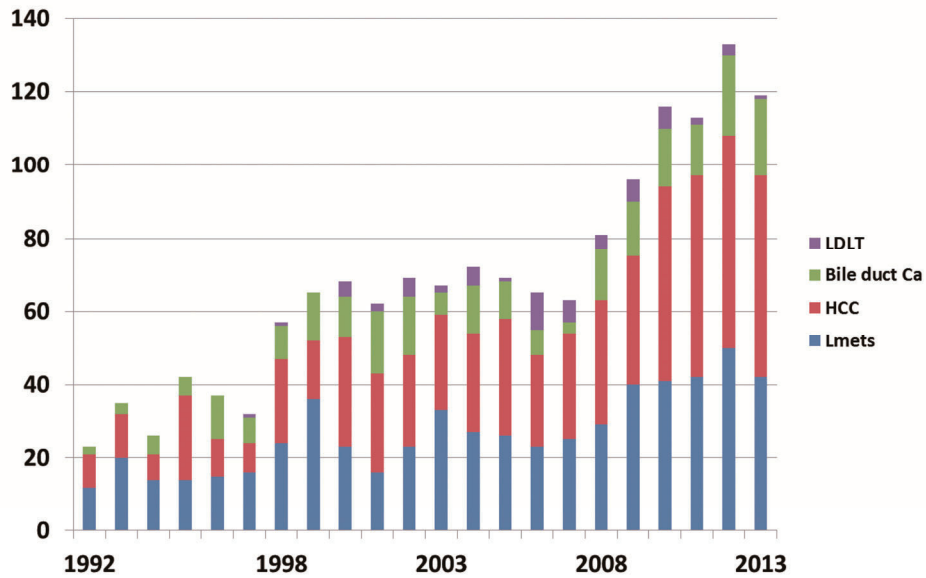


横浜市大 肝移植症例 原疾患



年間手術件数の推移

年間肝切除数の推移



膵頭十二指腸切除症例数

